

12月10日 第3回所長講話「授業づくり・保育づくりの参考に」

月に1回程度のペースで実施している所内研修の中の「所長講話」の第3回目を12月10日に行いました。

【所長講話の主な内容】

- はじめに
 - ・NHK ラジオテキストや学習塾のチラシから、今後の指導方法の工夫、改善の参考
 - ・ポジティブな視点が大切
- 1 「NHKラジオテキスト 基礎英語1」を読む
 - (1) 手に取りたいと思える表紙
 - (2) レッスンに入る前の導入の工夫（意欲を高める）
 - (3) レッスン聞いてみて
 - ① PDCAサイクルを活用
 - ② 見通しを持たせる工夫と発展へのつなぎ
 - ③ 次への意欲、動機付けの工夫
 - ④ 誉める仕掛け作り→意識して誉める材料・活動・環境
 - ⑤ 明るいトーン、雰囲気、笑顔（子どもと向き合う姿勢）
 - ⑥ 振り返りを大切に（1日、1週間、1ヶ月）
 - ⑦ 評価する→どこまで、できたか、できなかったか。
 - (4) 「NHKの英語講座をフル活用した簡単上達法（川本さなえ）『いいわけは考えない』
- 2 「学習塾」のチラシから考える
 - 営利を目的とするという条件を別にして、指導者、学校、教室にいるという前提で考える。
 - (1) 実績を残す。→教育の特色をアピール
 - (2) 講師や先生の存在をアピール
 - 教師の力がつけば子どもは変わる
 - 教師は自分の力をUPするための自己啓発・自己研鑽が必要
 - (3) 指導方法、経営方針の工夫
 - ① 個別指導、少人数指導（一人一人に応じた指導）
 - ② 分かるまで教える（塾は直接教える）
 - 公立は教える方法を考える、集団の力を活用する。
 - ③ 具体的な方向性を示す
 - 面接でデータを示し、本人や親に決定させる。
 - むすびに
 - ・何からでも学びたい、吸収したいという気持ちを大切に。



写真1 所長講話



写真2 真剣に聞き入る教育研究員



【教育研究員の感想】

今日の所長講話では事前に出された英語のテキストと塾のチラシをみての気づきを、発表し合いました。似ているものや私が気づかなかった、感じなかった内容もあり、みんなの意見を出し合うことの大切さを感じました。

講話の最後に「何からでも学びたい、吸収したいという姿勢を大切に」とあり、そのためには日常にあるものに目を向け、そこからいろいろなことを学ぼうとする視点を持つことが大切、ということを感じさせるための事前の取り組みだったのかなと感じました。これまでは、親の立場で公文などのチラシを見ており、幼稚園教諭としての視点では見たことがなく、今日のお話を聞かなければ、これからも気づかなかったと思います。日常の中には、まだまだ保育や仕事、子育てに活かせるもの等が溢れているのかもしれないと感じたので、いろいろなことに目を向けていきたいです。

ラジオテキストや学習塾のチラシから、保育をする時に参考になるもの（導入の方法、PDCA サイクル、誉める、明るい雰囲気、いい訳は考えない、特色ある保育、教師力UP等）がたくさんあり、とても勉強になりました。

(稲嶺あゆみ)

上原所長から「NHK ラジオテキスト 基礎英語1」と「学習塾」のチラシを見ておくよう声がかけていたので事前に見てみると、多くの工夫があることに気づきました。どちらも写真やイラストの活用、短い言葉でアピールしたい部分を表記、文字を大きくしたり色を変えるなど目立たせる工夫、対象を誰にするかも考えられた作りになっていました。特にラジオ講座は、同じ内容を時間帯を変えて放送したりテキスト付属 CD の活用など誰でも自分の生活に合わせて都合のいい時間に学べるよう配慮されていました。

上原所長の講話を通して、いろいろなところに視野を広げ関心をもつことは自分の新たな学びに繋がることや謙虚な気持ちを常にもつことの大切さ、分野が違っていても学校と共通する部分があるということ学びました。

普段の生活の中では、自分に関係のあることや興味のあるものには進んで取り組んでいるが、それ以外のことには関心が薄くなってしまっていることに改めて気づかされました。これからは、いろいろなことに関心をもって学ぶ姿勢を大事にしていきたいと思います。(安座名有里)

身近に「学び」のヒントがたくさんあることを話していただきました。ラジオ講座の計画は、1年間、1月、1週、1コマの計画はもちろんのこと、その後、もっとレベルを上げて学びたい(基礎1→基礎2→基礎3→ビジネス)人の期待に応えることまで考えられていてすごさを知ることができました。学習塾のチラシでは、個別指導はもちろん、IT 機器の活用や幼児英語への取り組みなど社会が求めているものへの対応の早さで多くの人を引きつけようと工夫していることを知りました。どちらにもあまり関係ないと思っていましたが、たくさんの「学び」が存在しました。

いろいろなものに興味を持ち「学び」続けることは大切なことだと改めて感じるすることができました。最後に、勝晴所長から「世間から学ぶ」という言葉を聞きました。たくさんの人、ものに囲まれて暮らしているの、何にでも興味を持ち、何からでも吸収する力を身につけていきたいと思います。「学び」で身につけたことを子ども達に還元できるようにしたいです。(勢理客貴之)

今回は英語の講話では、普段の授業に活かせる事を教えて頂きました。テレビでの英語講座は見たことはありましたが、ラジオの講座とテキストを見るのは初めてでした。英語の講座の入ったCDを15分聞かせて頂きましたが、基礎英語1なので分かりやすく、あっという間でした。所長がおっしゃるように、褒めている箇所が多く、声のトーンも明るく聞こえました。また、その日だけではなく、1週間、月ごとの振り返りもあり、定着へ向けたところ配りがありました。本の紹介からは、始めるのに遅いということはない、毎日勉強することを習慣化する、言い訳を考えないといったことを通して、英語を身につけた方の紹介を聞くことができました。

学習塾のチラシからは、教師は常に研修をしなくてはいけないということ、児童に具体的な方法を示す必要があるということなどが分かりました。今日の学びをここでの研修や学校現場で活かしていきたいと思います。(比嘉俊雄)

以前、所長からの宿題として、事前に過去の NHK のテキストを見て、気づいたことをまとめておくことと、学習塾のチラシを見て、気づいたことをまとめておくという課題が与えられていました。事前に気づいたこととして、塾のチラシに共通する特徴を考えました。月謝、連絡先、売りにしていること(→どんな力を身につけさせたいか)、実績のアピール等でありました。今、私が子どもを塾に行かせる立場であれば、読者が知りたいと思うような内容が必ず書かれていました。しかし、音楽を学ぶ学習塾は月謝が記載されてなく、公表しないのがその世界の常識なのだろうかという疑問を持ちました。

NHK のテキストは本当に昔から書店に並んでいる。私も教員になってから購入していた時期があり、当初のテキストと比べると、格段にマンガの様相を呈していました。15分という限られた時間で、効果的に英語を学習できるコツがきっと凝縮されているに違いないと思いました。CD の音声に導かれるままに学習していったらいつのまにかよくわかるようになっていたなんて、放送する側からすれば嬉しいに違いありません。私も教える側としての手応えを感じたいと思いました。(古謝栄子)